



ぎかいの窓

令和5年12月に行われた綾町議会の様子を覗いてみましょう…



綾小学校合唱部(福岡市にて)

今号の目次

- 条例ほか P 1 ~ 6
- 補正予算 P 6 ~ 7
- 請願、意見書案・発議 P 7 ~ 8
- 議決結果一覧 P 9
- 一般質問 P 10 ~ 16
- 議会活動 P 17 ~ 18

年頭あいさつ

あけましておめでとうございます。

元旦に能登半島地震、二日に羽田空港で航空機事故が発生し、悲しみの幕開けとなりました。被災された方々には謹んでお悔やみ申し上げます。

綾町においては、昨年から夏祭りなどの伝統行事が町民の力で盛大に行われ、まちは賑わいを取り戻しつつあります。町民が主体となってまちを育て、郷土愛と志を胸に持続可能な綾町を築いていく「飛躍と成長の年」にしていきましょう。議員一同、皆さまとともに全力でまちづくりに取り組んでまいります。

綾町議会議長 松浦光宏



議案第54号

綾町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例

デジタル化を進め、町民の行政手続きを簡略にする条例をつくる。

賛成8反対1
可決

議案第55号

綾町農業集落排水事業の設置等に関する条例

55号、56号、57号は共通の概要。農業集落排水(小田爪下水道事業会計)、公共下水道事業会計、浄化槽事業会計が公営企業会計に移行する。

賛成8反対1
可決

賛 (海江田) 下水道事業を将来にわたり安定的に運営していくために、公営企業法を適用し、経営戦略の策定や抜本的な改革等の取り組みを通じ経営基盤の強化を図るもの。よって、町は安定的に住民に提供できるよう最善の管理を行い、将来にわたり経営の安定に努めることを強く望む。

反 (橋本) 議案第55・56・57・58号合わせて述べ反対。独立採算制の会計に移行し、利用者負担が増える懸念がある。福祉向上と公共サービス低下が予測され、容認できない。55号から58号まで関連しており同様の理由から反対。

議案第56号

綾町公共下水道事業の設置等に関する条例

賛成8反対1
可決

議案第57号

綾町浄化槽事業の設置等に関する条例

賛成6反対2
可決

議案第58号

綾町農業集落排水事業、公共下水道事業及び浄化槽事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例

55・56・57号の移行に伴い、必要な事項を定める条例をつくる。

賛成6反対2
可決

議案第59号

綾町課設置条例の一部改正

役場内の課の担当事務の見直し。

全員賛成
可決

議案第60号

綾町職員定数条例の一部改正

定年延長や育児休暇取得等に対応するため職員定数を100人から110人に増員。

全員賛成
可決

議案第61号

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に準じ、期末・勤勉手当を0.05か月引き上げるものなど。

全員賛成
可決

賛 (橋本) 一般職職員は「行政は常に住民の福祉とくらしを向上させること」が存在目的であることを理解し業務に当たらなければならない。そのためには能率的で活力があり、住民の立場や事情を理解する努力を続けることが重要。公務員としての自覚と尽力求める。

議案第62号

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

61号に準じ期末手当を0.10か月引上げるが、町長の引き上げ分(令和5年12月、令和6年6月分)の引き上げはしない。

賛成8反対1
可決

賛 (海江田) 5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行から、コロナ前の日常に戻つつある。一方では、ロシアによるウクライナ侵攻などの不安定な世界情勢などの影響で、石油や食品など、あらゆる分野で物価が高騰し、各生産分野はもちろん、一般家庭においても厳しい経済状況が続いている。このようなことから、町長に支給される12月及び次年度の6月の期末手当について、1.75か月を1.65か月の現行額で希望されたことについて、町長の判断を尊重する。

賛 (上野) 町長が議員時代より、この案件に関しては考えを持っていたことを聞き、一定の理解は出来るが、この改正は人事院勧告に基づいたものであり、特別職にあるものは足並みを揃えるべきである。今回はこれまでの町長の考えに理解を示し賛成とするが、次回は足並みそろえていただきたい。

反 (橋本) 町民のくらしはひっ迫している。特別職職員にも生活があることは理解できるが、今回引き上げなくても生活は可能だ。町長も議員も自ら立候補して今の立場にある。他自治体と比べれば低いのは事実だが同意できない。

議案第63号

議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正



人事院勧告に準じ、期末・勤勉手当を0.05か月引き上げるものなど。

議案第64号

綾町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正



令和6年度から勤勉手当を支給する。給料月額は、一般職と改定の適用時期を同じとする。

議案第65号

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正



新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い職員の特殊勤務手当が不要となり廃止。

議案第66号

綾町消防団条例の一部改正



団長・副団長の任期が同じであるため次回のみ任期をずらす。

議案67号

綾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正



運営に関する基準の変更。

議案68号

綾町税条例の一部改正



「軽自動車税」は環境性能割などに関する変更と「森林環境税」の創設(個人町民税の均等割に上乗せして年1,000円徴収)2016年1月1日施行。「個人町民税」は、給与所得者の扶養親族等申告書の簡素化を規定。2017年1月1日施行。

反 (橋本) 森林環境税の部分について反対。森林環境税は、国民一人当たり1,000円を新たに徴収するもの。地球温暖化対策のためとしているが温室効果ガス排出企業への負担は一切求めていない。町民の負担増となり反対。

議案 69号

綾町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の加入者でのうち、妊娠中の国保税を免除(通常4か月、多胎は6か月)する。



議案 70号

綾町文化財保護条例の一部改正

町指定の文化財は「焼失」以外の理由での解除ができず、他の理由での解除も可能とする条例に変更。



議案第 71号

綾町農業集落排水事業特別会計設置条例を廃止

72・73・74号ともに公営企業移行のため廃止する。

反 (橋本)55・56・57・58号の関連で、71・72・73・74号に反対する。



議案第 72号

綾町公共下水道事業特別会計設置条例を廃止



議案第 73号

綾町公共下水道事業減債基金条例を廃止



議案第 74号

綾町浄化槽事業特別会計条例を廃止



議案第 76号

公平委員会の委員選任につき同意を求めること

公平委員の任期満了により後任を決定。新公平委員 森園 由美子氏(神下)



賛 (海江田)公平委員は、町職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障し、職員からの苦情相談に関することでの不服申立について判断するものだが、森園由美子氏は、綾町役場職員として長年従事され、知識知見が豊富で町職員からの人望もあり、職員からの苦情相談に、やさしく対応される器量を持ち合わせておられ、公平委員として適任と認める。

町発注工事による「(株)坂田石油内の給油所地盤面及び停車油小溝の改修工事」での不法行為により権利侵害を与えたが、和解と損害賠償額を定めるもの。

賛 (上野)町の担当者に対し、ガソリンスタンド側より注意があったにも拘わらず、業者に伝えておらず今回の事故に繋がっている。しかも一步間違えば大惨事にもなりかねない事故であった。多岐に渡る建設課の仕事を遂行するのに現在の人員では不足しているのではないか。人員増も視野に入れ、しっかりとした体制構築をし、再発防止を心がけていただきたいと要望する。

賛 (海江田)株式会社坂田石油に対するものだが、今回補償コンサル会社が査定した191万円に対し、100万円で合意に至っている。会社が、利益の侵害があったにも関わらず「今まで町や町民の方に大変お世話になっており、郷土を愛するものとして、これ以上の無理強いはしない」との建設課長の説明を受け、坂田代表に感謝する。町は、厳重に工事監督に努め、また和解合意までに1年以上もの時間を費やしていることについて、強く反省するよう求める。

産業観光施設の指定管理業者の指定について

綾手づくりほんものセンターと宿泊3施設の指定管理者への同意を求める。ほんものセンターは「商工振興会」でこれまで同様。宿泊3施設は「UNICOOK Lab株式会社」。

反 (橋本)ほんものセンターの運営に関し、不透明で公平性に欠けるとの声がある。商工振興会が選定委員会に提出した資料では、会員の声に応える計画も記載されており、一定の改善計画は確認できたが、問題は観光案内所の役割だ。宿泊施設は、経営経験のない事業者への指定だ。現在中心になっている職員の進退は不明で先が読めない。事業計画書も実現可能とは認められない。今後の運営に大きな不安があり反対。

賛 (興梠)経営実績がない会社であり、将来についての不安を払拭できないのが正直なところ。今後の運営に当たって、執行部の十二分なバックアップが必要。協定書についてもよくよく吟味するべき。

賛 (上野)観光案内所に関しては、その機能を果たすことなくこれまでも経営を続けている。TOPIKAの問題でも感じたことだが、最初の契約があやふやなために、その後の問題を招いている。今回の指定管理ではしっかりとした契約を結び、なおかつそれが履行されているのか、担当課と管理者側との常日ごろのコミュニケーションが密になされるよう強く望む。

綾町農業等の利用施設の指定管理業者の指定について

農業施設等の指定管理をこれまで同様綾町農業協同組合に指定する。

賛 (上野)施設の老朽化、稼働率の低下、現在委託している農協の合併により、今後の運営に不安要素があることも分かった。どの施設もこれからの綾町の農業を支える大切な施設である。とくに育苗センターはこれからの農業を考えた場合、大変重要な施設である。その点を十分に考慮して、施設の充実と、利用の拡大を図っていくことを希望する。

議案第79号

宮崎東諸県地域介護認定審査会共同設置規約の一部変更に関する協議について



宮崎市と国富町、綾町で共同設置している「介護認定審査会」の審査委員を60人から10人増やし70人とする。

賛 (橋本)審査委員として町民から数名は入れるよう尽力を求める。

議案第80号

大淀川左岸地区国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託の廃止に関する協議について



宮崎市に事務委託していたものを廃止するものであり、地方自治法の規定により議会の議決が必要なための協議。

議案第81号

令和5年度綾町一般会計補正予算(第4号)

国の経済対策に基づき、住民税非課税世帯1世帯7万円、それ以外に住民1人当たり4千円の商品券を支給する。



議案第82号

令和5年度綾町一般会計補正予算(第5号)

人件費増額、国民スポーツ大会推進室の設置、無電柱化工事費、災害復旧工事など。



反 (橋本)議員や特別職の期末手当を含んでおり反対。数点意見を述べる。

①小学校体育館は児童にとって危険な状況であるにもかかわらず、建替えが認められないのは国の制度の問題。②尾立地区のごみ集積場を作る事業への補助金が計上。集積所建設で住民が財政負担をするのは妥当か。③バイオマスプラント建設関連の調査業務委託費の計上がある。地元住民の意見聴取を実施すること。④戸籍にフリガナを付けることは町民に十分な情報提供が必要。⑤国スポは、国・県への要望と、十分な協議を重ね職員・町民の意見も聴取すること。

賛 (興梠)9月補正予算で同僚議員も同様の討論をしたが、おむつ購入の補助が通所児童のみ対象、非通所児童は対象外であり不公平感は否めない。重ねて今後の対応を強く望む。

賛 (海江田) バイオマスプラントの建設により循環システムを強化していくことが「自然と共生する綾町」が持続するために適している。今回、調査業務費が計上されたが、今後の方向性を見出すためのものである。また、国民スポーツ大会は、現在3競技となっているが早急に判断することを望む。担当課は各会場を年次的に整備し、2027年の大会が成功することを願う。

議案第83号

令和5年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

出産一時金引上げ、国保積立基金の繰り入れ減額、人件費増額など。

全員賛成
可決

議案第84号

令和5年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

安定化繰入金の減額、納付金の確定、人件費増額など。

全員賛成
可決

議案第85号

令和5年度綾町介護保険特別会計補正予算(第3号)

システム改修、介護予防サービス費の増額、人件費増額など。

全員賛成
可決

議案第86号

令和5年度綾町水道事業会計補正予算(第2号)

全員賛成
可決

請 願

請願第2号

次世代のための綾川(本庄川・綾北川水系)の清流復活(汚濁解消)に関する請願

綾川の水質汚濁を軽減するため、宮崎県知事に意見書提出するよう求める。

賛 (外山) 浚渫は電力会社・国・県が行う事業であり、町には関係ない。

賛 (海江田) 河川の汚濁が長年の課題である。決して次の世代に引き継ぐわけにはいかない。清流復活に向け河川管理者である宮崎県に対して、濁水軽減のための「効果的な取り組み及び新たな濁水軽減策」を行うよう、町をあげて要望するものである。

全員賛成
採択

請願第3号

学校給食費の無料化を求める請願書

反 (上野) 給食費の無償には大いに賛成であるが、現状は自治体の財政状況によって左右されている。これは国によって、しっかりと対応すべき内容のものであり、自治体任せにはならないものとする。

賛成5反対4
採択

反 (外山) 学校給食費の無料化の前に残菜の問題を考えるべき。残菜のことは学校問題で終わることではないと思う。国もSDGSを推進している。

賛 (興梠) 「綾町食育・地産地消推進計画」を謳^{うた}うならば、そもそも学校給食は教育の一環として無料であるべきである。

請願第4号



高校卒業までの医療費無料化を求める請願書

反 (上野) 請願第3号と同じく、医療費の無料についても基本的には賛成である。しかし、このことも国によって対応されるべきものであり、住んでいる自治体によって、医療費の負担率が高い、低いというのは、あって良いものではないと考える。

反 (外山) 高校卒業までの医療費無料化だが、高校に行っていない生徒もいるので高校卒業に準ずることも対象にするべきだと思う。

賛 (興梠) 財政負担も小さくなく、やるべきだ。高校生に限らず将来の社会を担う人材として全ての未成年者に対しても検討すべき。

意見書案・発議

意見書案第4号



消費税廃止を求める意見書

反 (橋本) 多くの国民は消費税減税・廃止を求めている。その点では同意できるが、意見書では「国家予算の骨格は国債で構成されている」「国債発行による信用創造によって社会経済は動いている」との見解がしめされ、その点を論議するに至らず同意できない。

反 (上野) 今回の意見書案を機に、消費税について議員間での意見を活発にするという本来の目的がまったくなされていなかった。意見書を提出するというのであれば、まずは議員間でしっかりと議論を交わすなどのプロセスを経て、意見の集約を行うべきである。

賛 (外山) 児童・高校生・高齢者の支援はあるが、消費税廃止すれば全員に関わる。

意見書案第5号



次世代のために綾川(大淀川水系本庄川・綾北川)の清流復活(濁水軽減)に関する意見書

発議第2号



選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

選挙管理委員会の委員及び補充員の選任。

12月定例議会：議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 討論有：※

区分	ページ	議案番号	審議結果	議案一覧	上野一八	中神智光	興梶智一	外山ひろ子	海江田和久	山田由美子	児玉信	日高幸一	橋本由里	討論	
					○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
条例	1	54号	可決	綾町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○		
		55号	可決	綾町農業集落排水事業の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※
		56号	可決	綾町公共下水道事業の設置等に関する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	
		57号	可決	綾町浄化槽事業の設置等に関する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	
	2	58号	可決	綾町農業集落排水事業、公共下水道事業及び浄化槽事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	
		59号	可決	綾町課設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
		60号	可決	綾町職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		61号	可決	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	3	62号	可決	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※
		63号	可決	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
		64号	可決	綾町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
		65号	可決	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		66号	可決	綾町消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		67号	可決	綾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	68号	可決	綾町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	※
		69号	可決	綾町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		70号	可決	綾町文化財保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		71号	可決	綾町農業集落排水事業特別会計設置条例を廃止する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	
72号		可決	綾町公共下水道事業特別会計設置条例を廃止する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●		
73号		可決	綾町公共下水道事業減債基金条例を廃止する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●		
74号		可決	綾町浄化槽事業特別会計設置条例を廃止する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●		
人事	76号	可決	公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	表決(全員賛成)									※		
その他	5	75号	可決	和解及び損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
		77号	可決	産業観光施設の指定管理者の指定について	○	○	○	●	○	○	○	○	●	※	
		78号	可決	綾町農業等の利用施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	6	79号	可決	宮崎東諸県地域介護認定審査会共同設置規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
80号		可決	大淀川左岸地区国営造成施設管理体制改革促進事業の事務の委託の廃止に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
補正予算	6	81号	可決	令和5年度綾町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
		82号	可決	令和5年度綾町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	●	○	○	○	○	●	※	
	7	83号	可決	令和5年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		84号	可決	令和5年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願	2	2号	採択	次世代のために綾川(本庄川水系・綾北川水系)の清流復活(汚濁解消)に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
		3号	採択	学校給食費の無料化を求める請願書	●	●	○	●	○	●	○	○	○	※	
	4	4号	採択	高校卒業までの医療費無料化を求める請願書	●	○	○	●	○	●	○	○	○	※	
		4号	否決	消費税廃止を求める意見書	●	●	○	○	●	●	●	●	●	※	
意見書案発議	8	5号	可決	次世代のために綾川(大淀川水系本庄川・綾北川)の清流復活(濁水軽減)に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		2号	可決	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	異議なし										

町行政の基本的な考え方や問題点を議員が町長等に問いただす一般質問は7名が行いました。ご質問がある場合は各議員にご連絡ください。

議 = 議員 議長 = 議長 町 = 町長 副 = 副町長 教 = 教育長 課 = 課長



日高議員

令和6年度 照葉樹林マラソン復活

照葉樹林マラソン復活できるか？

議 照葉樹林マラソンは平成31年を最後として開催された。あれから4年余り休みがあり、再度復活したらどうかという町内、町外、県外のランナーからの要望は強く、今年もテストランとして開催された。来年は照葉樹林マラソンを復活できそうか。

町 来年は照葉樹林マラソンを本格的に復活したいと私自身考えている。今年がテストラン第2回目の大会だったが、中学生を含む、160人を超えるボランティアの協力もあって一件の事故もなく盛会のうちに終了した。各方面からご支援、ご協力を頂き私の立場からお礼を申し上げたいと思っている。

議 次回開催にあたって、実行委員長はやはり蚊口委員長を中心に開催すべきと考えるが、町長の見解を伺う。

町 今回は実行委員会に全てとりまとめして頂いた。来年については実行委員長だけではなく、町が出来ることについては、役割をしっかりと分担して共催というような形でさらに規模拡大の旨を伝えている。町もしっかり関与しながら今後協議を進めてまいりたいと考えている。今の段階では本年度の日程の10月27日(日)を軸に開催する方向で、コース、距離、さらに種目、ランナーの規模や予算、ボランティアなどについて、具体的に協議をスタートしたい。

議 過去を振り返ると、照葉樹林マラソンがあまりにも費用対効果がなさすぎたという理由で中止になった。開催費用の面で何か工夫があれば伺う。

町 テレビ局についてももう少し交渉すれば良かったと思う。突然やめるとということにはならなかったのではないかと。様々なマスメディアにも話を既に就任の時からしており、ご理解を頂いた上で一緒にやれるのではないかと。ふるさと納税も活用しながら様々な手法を今から考えていきたい。そして強

力なスポンサーについても探していき、皆さん方の協力もお願いをして公民館にもできる範囲でお願いして、ランナーは最低でも2,000人規模で考え、町のメインストリートを主に走ってほしいという町民の声を頂き、生活等に極端に支障がでないような形でコース組みを考えたい。

国スポ 綾開催できるか？

議 令和9年度の宮崎国民体育大会(国スポ)は綾町にて3競技内定をいただいている。開催にあたっては費用の面、担当スタッフの面、綾町の自治体の中では本当に大きな課題だと思うが、町で決断できない一番の問題は何か。

町 結論から言うと、来年の夏に最終決定される予定であり役場の中でいろいろな協議を今進めており、先日副知事の方に要望書を直接お渡し、しっかりと検討していきたいと話をいただいた。河野知事、スポーツ課課長、総合政策部部長と意見交換をしている。

議 「やりたい」ということで受け止めた。そのためにはどうするのか。来夏までに結論を出すとのことだが町民合意も必要ではないか。

町 ただ単にスポーツを開催するということではなく子供たちが、この日本を代表するスポーツ選手たちの競技が急がれるということは、非常に重要だと思う。国スポだけのための馬事公苑ではなく、綾町民そして宮崎県のための馬事公苑というとらえ方で私は考えている。是非、馬事公苑で国スポをやりたいという気持ちでいる。



橋本議員

学校給食費無料・高校生まで医療費無料は町民の願い

賛同署名多数

議 「医療費無料を高校生まで」の署名は約450筆。予算も400万円程度。国の政策待ちではなく町独自の政策で新年度から実施を。

町 県内の状況、助成内容、時期、タイミングなど今後検討する。全額無償で予算420万円。国の支援策も見ながらしっかり対応。

学校給食費無料も賛同署名が460筆に

議 文部科学省も来年6月には給食費に関する調査結果を公表するとのこと。町民合意は得られている。

町 算出した金額は7,000千万円に上り、完全実施は現実的でない。段階的实施も含め、全体的バランスの中で考える。

議 7,000万円の積算根拠は。

町 保護者負担分約2,645万円。現在の給食費の町負担分が約319万円。その他の給食運営に係る経費の町負担4,000万円の合計だ。

議 いま求めているのは保護者負担分で、無償化での新たな負担増は約2,600万円だ。

町 子育て支援は充実してきている。高齢者支援とのバランスも必要。約2,600万円の保護者負担分をどうするのかは協議したい。

ひとり親の医療費は現物支給に

議 県内すべての自治体が一斉にやらなければならないとのことだったが、実現のためにどのような取り組みをしてきたのか。

町 県が動かないと実施できない。県に要望し分析もしていく。昨年度実績では140万円だ。

学校支援員の増員を

議 支援員を必要とする子どもが増えている。町長の見解を聞く。

町 支援員増員、特別支援学級の1学級を8名から6名にし、より手厚く支援できるよう国に要望している。

議 支援員の要望が多いことは国も認識しており、令和5年度で65千人分の財政支援をしているとのこと。県に対し要望を強めるべき。支援を必要とする子どもの増加はどう考える。

町 国・県にしっかり要望していく。支援の必要な子どもが増えている理由は複雑な要因が絡んでおり、社会状況も関係していると思われる。

教 綾町は手厚い対応はしているが、新年度は中学校でもう一名の要望がある。支援員の勤務時間を弾力的柔軟にシフトする工夫もしていく。

「照葉樹林文化館」の利活用を具体的に

議 森林・林業・林産業活性化九州大会に参加した。講話を聴きほぼ利用されていない照葉樹林文化館の活用に希望が持てた。ぜひ全国のおもちゃ美術館に学び、木を使った子どもの遊ぶ場所に活用を。

町 活用のための検討は必要だ。子どもの遊び場であれば改築改装が必要になる。馬事公苑一帯の構想の中で考えたい。

議 全国には10館を超える「木のおもちゃ美術館」がある。照葉樹林文化館の利用として打ってつけた。

雑草 特に通学路の対策を急いで

議 通学路の歩道に入り込んだ雑草や歩道脇の雑草は子どもの安全な通学を妨げている。

町 この夏の雑草の伸びは顕著だった。限られた予算と人手の確保、天候などあるが早急な対応が必要だ。地域の協力も必要。

教 保護者からの情報等も受け止め、特に通学路は積極的に対応する。

議 教育委員会と建設課で情報を共有し、年数回は巡回すべき。

町 歩道への塗布型防草対策を実施する。千草通り線・割付岩下線・北麓市野々線・空道郷鳴線と進めていきたい。



錦原通学路

このほか、山を守る取り組み・老人福祉施設・活性化協会と指定管理者の関係について質問した。



山田議員

2027年日本のひなた宮崎国スポに向けて

かごしま国体視察検証

議 綾で開催予定のサッカー、ハンドボール、馬術の町が抱える負担は(人的、財政的、設備)

町 かごしま国体後の報告がないため説明できない。令和4年度に行われた栃木国体は参考にならない。

議 ハンドボール、馬術が行われた霧島市は、1市6町が合併した市で、馬術の会場は全国和牛能力共進会が行われた場所で広大な敷地を有していた。綾町の人口は、6,800人で、すべての競技は無理ではないか。身の丈にあった大会でよいのでは。ましてや役場の職員だけでは人手は足りないのではないかと。県との協議は。

町 要望書を副知事宛に提出している。目にみえた進展はない。最初から無理だという考え方をすれば何も進まない。国スポをやることによって、そのレガシーとして馬事公苑の活用の仕方、スポーツランド綾町の発展につなげていきたい。

議 福祉、子育て支援など、さまざまな綾町の問題に目を向けてほしい。



今年度の米の品質、担い手は

議 農林水産省が食料危機時にむけての生産拡大に関する有識者会議を実施した。世界情勢が不安定な中、主食となる米は大切だ。今年度、全国の収穫量は前年比と比べて1.4%減の661万トンとのこと。綾町ではどうか。

町 一等米ゼ口、二等米570キ口、三等米9,840キ口、規格外20,970キ口。例年と比べて若干減少気味。品質については一等米、二等米の量が減少。夏場の高温等及びカメムシ等の病害虫の影響。

議 米農家の全国平均年齢68.4歳。今後20年で米農家は4分の1になると推定される。

町 綾町で米専業農家は少ない。農業全般に後継者のないところも多く、担い手が減少している。

議 気候変動による農業対策は。

町 特に対策はしていない。ある程度中長期的なデータをもとに対策を講じていく必要がある。JA、県の普及センターとも連携を取りながら、生産指導及び対応を検討していく。

議 綾町の農業を守るための行政としての取り組みは。綾町で収穫されたものは綾町で消費する体制づくりは。

町 今後、自給自足は非常に重要。農業の生産量をあげていくにあたり、販路の確保、情報発信が必要。国策として有機農業を推進する動きが強まっている。綾町は先頭にたっている強みを活かしていく。ICT導入による農家の負担軽減、収穫の拡大、生産量の増加、収益の増加につなげていきたい。

教 農業に関する速効性のある教育施策はないが、綾に対する愛着心や、ボランティアをすることで綾に貢献したいという熱い思いは高まっている。今後、綾町の農業を支えていくような人づくりに教育現場も貢献していきたい。

尾立養豚施設、二反野メガソーラーの今後

議 行政としての管理、監督の取り組み。状況改善にむけての後は。

町 令和3年2月に尾立養豚施設から出た、し尿が綾南川に流出した事故で、施設整備の老朽化による維持管理の問題や液肥の散布農地減少などの課題がある。他に、匂い・人材・物価高騰による経営上の課題がある。今後、資源循環型の継続を基本的路線にし、バイオマスプラント方式を検討する。二反野メガソーラー事業は、九州サンパワーの社員が逮捕された事による信頼関係の失墜がある。信頼の再構築が大前提。



農家の悲鳴とエコパーク

野生との共生としての鳥獣害対策

議 これまでの経緯として、国による電柵等の資材の補助があり、町の負担で設置。現状では管理不十分なところで被害。まずは農家自身が責任を持つことが肝要。鳥獣害対策はある地区だけの問題ではない。広域で考えるべき。県の対策計画は生息調査だけで実際の取り組みは不明。県の鳥獣害対策支援センターの職員は3名、基本的な防護柵指導が中心。本腰で取り組むならば全く不十分。支援センターによれば里に不要野菜、果樹の放置といった餌場を作らないこと。ならばそれを逆手に取り、山中に人工的な餌場を作れば良い。前例がなく一考の価値はある。

町 令和4年度被害は大体面積130a、金額284万5千円。まさに喫緊の課題。対策として現状はおおよそ前述の通り。耕作放棄地対策は農業委員会とも協力し、県自然環境課、対策センターとも連携し罾の初心者講座を実施、その他調査等に協力。さらに連携を深め、町内では生産者のみならず地区全体として対策の重要性を啓蒙する。

議 人工的な餌場については、森の植生にも留意しつつ野生動物の生態、行動に詳しい専門家に相談すべき。上手くいけば駆除・狩猟にも有利。ジビエ処理加工施設計画も念頭に、是非検討してほしい。

GIGA スクールへの提言

議 2019年から国が主導しているGIGAスクール構想(教育ツールとしてPCと高速ネットワークを整備)。教育現場のICT化による利点について異論はないが、子供たちへのデメリットについてどのように考えているか。

教 児童生徒個別に最適化された学びを実践するために、現場ではITツールを使った様々な実践が行われている。一方でタブレット等の過剰使用による視力の低下などの健康への懸念も。文部科学省のガイドブック(様々な留意点がありやすく解説しており、家庭内でも適切に指導できる内容も含む)に従って画面との距離を30cm以上離すこと、30分に1回は30秒以上休めるなどを指示。情報モラル教育の参観授業なども実施。デジタル機器の恩恵に預かるのはいいが、過剰評価されすぎて、子供たちが依存してしまてはいけない、という認識を私も校長たちも持つ。やはり体験活動を通して物事を考えていく、バランスが大事。今後もより効果的な教育実践を検証していく。

議 神経の発達可塑性という現象がある。生後ある期間までに適切な経験・刺激がないと脳内含む神経系がそれ以降発達しないというもの。ヒトの場合成長までに20年以上かかり、例えば前頭葉などは発達が遅く30歳近くまでかかる。便利なものを使う、すなわち自分の本来持った能力を使わないということ。不便だからこそ、知恵や体を使って鍛えられる。憲法23条には「学問の自由」があるが、機器を使う使わないという自由もあるはず。

教 当然である。強制にならないように指導する。

町 日本はICTリテラシーが遅れて国力を削いでいる。教育現場というより家庭の問題では。

議 子供たちへの影響とICT化が遅れているというのは別の話だ。

町 同じことだと思う。

議 便利なものはすぐに簡単に使える。あえて教える必要はない。教育の意義は別にある。

町 子供たちの将来的な成長にはデメリットばかりを強調すべきではない。

議 国が推進しているからメリットが強調される。成長の大事な時期だけにデメリットに注意してしすぎることはない。

町 この場で議論しても始まらない。

町民体育大会の今後

議 見直しの声も多数。そもそもの目的、今後の方針を伺う。

町 町民の連帯意識の高揚を目指し、体力向上、健康の維持増進が目的。継続の必要性を感じているが、子ども議会でも提案があった小学生から高齢者まで楽しめる種目への転換も必要か。

その他、議会のICT化、観光・移住促進対策、各民主団体の再編・事業見直しについての質問を行いました。



中神議員

保育所は子育て支援の原点

町立保育所の現状と今後

議 現在の中坪保育所、南俣保育所、綾保育園、綾幼稚園の園児数は。

町 11月現在、中坪保育所55人、南俣保育所18人、綾保育園83人、綾幼稚園78人だ。

議 南俣保育所が少ない理由に前町長との関係あるのか。

町 南俣保育所が少ない理由は、令和元年に老朽化した北俣を閉鎖したこと、前町長の統合案による保護者の不安と不信感を招いたことも考えられる。

議 来年度南俣保育所への通所者を増やす対策はあるのか。

町 現段階で保育所を統合する考えはない。さまざまな個性を持った子どもたちが増えているので、環境を整備することが大事である。費用の問題ではない。現在、保育所の入所数に隔たりがあるが、保護者の理解をいただきながら調整できる方にはお願いしていく。

子育て支援策の認知度が低い

議 保育料無料、出産祝い金など町HPを見ても掲載されてない。

町 その通りだ。子育て支援に限らず様々な情報発信が足りてない。今後の重要施策にし、いろいろな支援については、一覧できるよう構築していく。

会計年度職員の待遇改善

議 会計年度職員の給料と退職金は。

町 退職金については制度上ないので、支給はできない。給料は令和3年度に賃金改正を行い改善しているし、勤務年数にも対応している。

農業施設指定管理

議 育苗センター付帯設備の費用負担はどちらにあるのか。

課 経年劣化等は町、消耗品とか瑕疵(かし)による費用負担は農協が見る事になっているが、項目によって割合が決まっている。

議 施設整備が低コスト農業につながる。

課 財政とも協議し中長期的な予算確保に生産者の負担軽減に努める。

議 苗価格決定権はどこにあるのか。

課 条例で議会の議決を得るとある。各価格に上限があり農協と協議をして決めている。

肉用牛サポートセンター

議 子牛価格低迷による施設利用を危惧する。

町 県全体の肉用牛振興を担う施設として、近隣市町村の受け入れを可能にするための検討の余地はある。

議 長期的支援をお願いしたい。

町 JAの県下統一後の動向を見極めながら検討していく。

課 今年度1頭当たり1日50円の補助をしている。これからも継続できるよう検討する。

議 農協も組合員の営農と生活を守るべく自助努力している。育苗センター共々絶大なる支援をお願いしたい。

空き家対策

議 現在、把握している件数は何件か。

町 191件、特定空き家が6件だ。特定空き家とは倒壊、保安上危険な状態、衛生上有害、景観を損なう状態にあると認められる空き家を指すものである。

議 廃棄物不法投棄、野良猫等の対策は。

町 公民館長からの情報収集を受けて現地を確認し、所有者に文書等で連絡している。野良猫等は周辺を含め環境対策を行っている。また、所有者が遠隔地の場合は、シルバー人材センターを紹介している。

議 所有者、相続者がいない時の費用負担は行政がやるのか。

課 住環境を損なう状況が著しい時は公費もありえる。

議 町のイメージダウンにならないよう注視願う。





笑顔のまち 綾を目指して

議 冒頭に、連日テレビや新聞等で報道されているイスラエル・パレスチナ問題、ロシア・ウクライナ問題の早期終息を願う。

安心した暮らしが送れる取組 街路灯設置について

議 中心部から離れると街路灯がなく、夜間は危ない。防犯・安全のため街路灯を増やしていく必要がある。高校生や町民がよく利用する川久保橋から宮崎木材市場までの区間における設置についてと、川久保橋・上畑橋・元町橋・綾南川橋には街路灯がない。

町 環境負荷や電気料金が発生しないソーラー型の街路灯の設置を年次的に整備していく。橋梁上の街路灯設置については耐震の問題などがあると思うので、管理者である県との協議を進めていく。

ペットボトルの収集回数について

議 ペットボトルの収集回数を増やしてほしいと多数の要望を受けている。

町 現在4人体制で町内130か所の収集所の収集を行っているが、今後、独り暮らしの高齢者対応も増加し業務が逼迫していくことが考えられる。収集体制を見直し月2回の収集が可能か検討する。

議 例えば、町体育館前の町有地にペットボトル専用ごみステーションを設置して早急に対策をとるべき。

町 スーパーなどにリサイクルステーションを設置する事例もある。いろいろなアイデアを考え検証していく。

新年度予算の核となる事業は

議 新年度予算の目玉事業は。何を推進する年に位置づけるのか。

町 産業振興・ユネスコエコパーク推進・自治公民館活動の見直しと推進、デジタル化推進、人口減少対策、防災減災対策、教育、高齢者の健康増進、27年度の国スポ対応、情報発信強化の10項目。

地域資源活用及び循環分野について

議 平成25年度から官民協働で里山再生を行っているイオンの森では、植樹活動や先進技術を活用した中学生の環境学習が行われている。町民がどのように利用できる場としていくのか伺う。

町 炭小屋の建設や周辺地域を含めた活性化などをイオン財団と検討している。町民の理解度を深めるため、情報の共有・発信をやっていながら具体的な取組に繋げたい。

議 遊歩道の周回コースを整備し、小中学生の遠足のスポットとなるような取組を期待する。

議 廃棄資源の循環活用は、施設の老朽化や労働力不足などの問題が出てきている。綾町の取組は国内でも先進的でありユネスコエコパークの核となるものでもあるため、継続しなければいけない。私個人は、バイオマスプラントの建設による循環システムの強化が適していると思う。

町 綾町は先駆的立場として、循環型の取組継続をやっていく必要がある。具体的には、今後調査を行ったうえで検討する。

6月議会で質問した内容の振り返り

議 安心した暮らしが送れる取組について、AED(自動体外式除細動器)は夜間でも使用できるようコンビニに備えつけてあるのか。

町 具体案等をまとめ、新年度予算に計上したい。

議 高齢者への対応について質問した次年度の予算措置について、考えを伺う。敬老年金について、任期中に減額及び対象年齢引き上げをするつもりはないか。

町 敬老年金は80歳以上に支給。令和5年度の実績は947人で総額680万6千円。高齢化の進展に伴い対象者数の増加が見込まれるため、節目の年齢のときに支給することを検討している。

議 現状維持をお願いします。

議 敬老会の地区への助成金は一人当たり1,800円。物価高騰で地区の負担が増えている。助成金の上乗せは考えているのか。

町 今後公民館と協議する。



町長、教育長も こども目線で

雛山づくりの支援をしたい

議 今度の雛山で24回目。4分の1世紀やっている。この時、使用されるコケを取りに行かれる方々も高齢になり、取りに行く場所も山奥ということ。エコパークセンターの木野田先生は養生され、ブーゲンピリア空港、子供の国に貸し出している。町内で使用したコケを綾町で養生できないのか。養生の興味のある方は木野田先生がやり方を教えるということ。ただ、場所が難しいので武道館の北側を利用させてもらえないか。

町 この取り組みを実行委員会へ呼びかけて、雛山を制作する方々に取り組んで頂く旨の推進はエコパーク推進室の方で行っているが、全体の取組として進んでいない状況。

議 綾のエコパークとは、自然を守るのが一番のポイントでは。綾の町民がほかの町村の山に入って、森の中でなく道路脇のコケを採ったりすると言われるが、綾はエコパークをうたっているのにああいうことをやっているのかと、外部から批判される前に、綾のほうで取り組むべきでは。

町 実行委員会のほうで一度検討して頂きたい。

議 実行委員会の方々も大変なので、仲間を集い一応私がやろうと思う。誰かがやれば上がらない腰もだんだんと上がってくるのでは。その為の場所の提供を。

課 実行委員会と協議をした上でエコパークセンターに相談を。

まず、学校教育・社会教育の連携プレーは

議 何人かの町民により「イワツツジ」に早期教育(0才~6才)は特に朝食は子供にとって一番大切と書かれていたと聞いた。朝食は親、昼食の管理は学校。小学校は7才以上なので食事はどうでもよいというのか？同じ教育委員会で！私の研修中に午前中5時間授業後給食の話をしたら今の時代虐待？の声有り。

教 「イワツツジ」の内容は直結して給食とは言っていない。保護者に対して意識を持ってもらうために出した内容。

2時間目の休み時間に児童にパンを配る件

教 来年度の時間割見直し改善案を作成中、もし本年度と変化なければ、その案を考慮していかねば。

議 結果が出るまで3か月ある。この3か月、毎日毎日児童はお腹を空かしている。決定までの間配ってもらえないか。

教 年内に案を詰めて年明けには最終案がでる？

議 最終案が出てきてすぐに4時間授業になるのか。

町 そこまで急ぐ必要は私はないと考える。

議 町長は学校の件に対して大人目線。5時間授業になった時12月に決定、1月より実施。

金賞 おめでとうございます

議 今回、綾小学校合唱部の児童の支援は。

教 綾小学校合唱部が出場した全日本合唱コンクール全国大会は福岡で開催。助成金は、児童及び引率する教員に掛かる経費は全額町が補助。

中部教育事務所が全国テストの結果・分析の仕方、その後の対策の取り組みで評価された綾

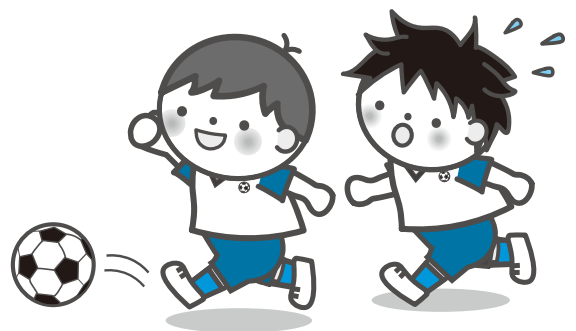
議 全国テストの結果は。

教 綾小中学校ともに全国平均、県平均をやや下回る結果。

児童館、児童クラブの申請書を同じにしては

議 綾は、児童館、児童クラブが同じ建物の中にある。今年の夏は、こども食堂が3回入った。その都度、児童館のこどもは別の部屋へ移動させられた。児童館の申請書にアレルギー等の記入欄があれば良いだけのことでは。

町 申請方法を統一する考えは今はない。



子ども議会開催

令和5年11月24日、子ども議会（綾町教育委員会主催）が役場4階議場にて開催されました。小学6年生3名、中学3年生14名が、クラスメートと議論しあった綾町の課題について町執行部へ提案を行いました。とても素晴らしい提案がなされ、町執行部側も、しっかりとした回答を準備し、子どもたちの提案に真摯に対応していました。参加者を代表して、小学生1名、中学生2名にインタビューを行いました。



問1 なぜ子ども議会に参加しようと思ったのか？

問2 どんな提案をしたのか？

問3 参加してみたの感想



小学生6年1組 まえだ なおき 前田 直毅 くん

答1 兄・姉・従兄弟から参加していた様子を聞いて、自分も6年生になったら参加したいと思っていた。

答2 道の安全についての提案をした。具体的には、カーブミラー、横断歩道、点字ブロックなどを増やして欲しいとの提案をした。

答3 参加したみんなが綾町のことを真剣に考えていると感じた。今回提案したことが形になって、綾町の人たちが安全に暮らせるようになったらいいなと思った。



中学生3年1組 なりた あぐり 成田 亜宮里 さん

答1 立候補して議長となった。議会の進行をしているとき、緊張で手汗が止まらなかった。10年程前に移住してきたが、そのころから比べていまは移住してくる人が少なくなったように感じていて、活気もなくなったことに危機感を覚え、子ども議会に参加してみたいと思っていた。

答2 クラスメートとの議論の中で、子どもも参加出来るボランティアを活発にして欲しいとの意見が出た。そうすることで地域の一員として子どもたちも自覚を持つことが出来ると思った。

答3 とても緊張したけど、大人の方たちが私たちの意見を真剣に聞いてくれて嬉しかった。



中学生3年2組 なかしま ちひろ 中島 千尋 さん

答1 以前から議会に興味があり、自分から参加を立候補した。クラスで「将来綾町に残りたい人」のアンケートを取ったところ、一人もいなかったことに危機感を感じ、子ども議会に参加してみようと思った。

答2 綾町に残りたい人がいないのは、観光客などがたくさん来てくれるような魅力が綾町にないからだと思っていた。観光客を増やすために情報発信の仕方に工夫をして欲しいと提案をした。具体的にはInstagramやTikTokなどを活用してほしいなどの提案をした。宿泊施設で、綾町内でとれた美味しい野菜や魚などをたくさん提供してほしいということも提案をした。

答3 テレビで国会などの中継を見たことがあった。そのテレビの中の世界と同じような状況に自分がいると感じて、とても緊張した。町執行部の方が一人一人の提案に対してしっかりと回答してくれたことが嬉しかった。

議会活動

新人議員研修 外山ひろ子議員

令和5年11月8日～10日

全国市町村国際文化研修所(滋賀県)

今回の研修では、地方自治法第96条、第100条の重要性についての講義があったが、まだ理解の及ばない部分もあった。これから綾町議会議員として活動していく上で、この点についてしっかりと勉強していきたい。99名の新人議員が参加しており、そのうち女性議員は19名。変化の乏しい議会を変えていくには女性議員が増えること、女性議員の数は議会の多様性の象徴とも学んだ。これら学んだことを生かし、もっと自己研鑽に励み、議員活動に取り組んでいきたい。



東諸県郡議会議員研修

令和5年11月24日

(株)デンソー宮崎国富工場

(株)デンソー宮崎国富工場では、自動車部品製造、産業機器、エレクトロニクスなど、グローバルに製造および開発拠点を有する国際的な企業であった。

防災拠点として、災害時には地域住民が避難、安全を確保する場所となっており、国富町と連携や調整が円滑に行えるようになっていました。



議会運営委員会研修

令和5年10月31日～11月1日

熊本県熊本市、熊本県美里町

初日は熊本城ホールで森林・林業・林産業活性化九州大会に出席し、森を守るために我々がなすべきことについての講演があった。次回は宮崎県で開催される。

2日目は美里町議会を訪問し、議会の運営が完全ペーパーレスで行われていることについての話をうかがった。今後、我々も早急に検討に入るべき課題と感じた。

また、美里町では議会の会期が9月議会で4日間(綾町議会は21日間)であると聞き、その短さに驚いた。すべてを取り入れることは無いが、意義ある研修であった。



議会報編集委員会研修

令和5年11月27日

宮崎県自治会館

広報アナリスト・エディターである吉村潔氏の「議会をもっと身近に興味深く」と題された講演会があった。見やすく、わかりやすい内容。目を引く表紙、知りたいニーズに応える。「自分ごと」として考える特集など、とても参考になる話があり、後半には参加した県内町村議会の議会報に対するクリニックがあった。いろんな工夫がされており、今後の編集作業で取り入れることで、充実した議会報作りに活かせるものと感じた。

表紙について

令和5年11月12日に福岡市で開催された、全日本合唱コンクールにおいて金賞を受賞した綾小学校合唱部です。黒木順子先生の指導の下、29名の部員で日ごろから切磋琢磨し、金賞という栄誉に輝きました。受賞後は町内外のイベントでその歌声を披露しています。その澄んだ歌声を聞くと、心が洗われ、日ごろの疲れも解消される気持ちになります。ぜひみなさんも一度聞いてみてはいかがでしょうか。



議会報編集委員会

令和5年12月27日(水)、
令和6年1月9日(火)、
1月16日(火)、1月18日(木)

3月議会のお知らせ

3月議会は、3月上旬からの開催を予定しております。日程につきましては、町のホームページ等でお知らせいたします。ぜひ傍聴へお越しください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年は元旦から、地震・航空機事故と大きな災害のニュースがあり、大きな不安を感じながらのスタートとなりました。被害の状況について報道などを見ると、地域の繋がりの大事さを感じているところです。

議会報編集委員としても、議会の広報のみならず、地域の情報収集と発信を行い、町民のみなさんとの繋がりを築いていきたいと考えています。

今年もみなさんへ分かりやすい情報の発信を努めてまいります。

議会報編集委員会一同

発行／宮崎県綾町議会

宮崎県東諸県郡綾町大字南俣 515 TEL:0985-77-2947

発行責任者／【綾町議会議長】松浦光宏

議会報編集委員会／【委員長】上野一八 【副委員長】興梶智一 【委員】橋本由里、外山ひろ子、中神智光、海江田和久